

ごうつ

市議会だより

津宮小学校 執行部 小川, 大畑, 越間, 猪木迫, 奥, 岩崎



2023.2
No.154

「江津市小中学校音楽会」(津宮小学校)

令和4年度 一般会計補正予算(7号)

10月3日 専決処分

承認

9月の台風14号の被害に対する補正予算を計上。

補正予算額 **1687**万円(補正後総額166億6310万円)

放課後児童クラブ

台風による放課後児童クラブ
講堂軒・渡り廊下軒下修繕

47万円

公共土木施設災害復旧費

道路災害 10カ所 690万円
河川災害 8カ所 950万円

1640万円

令和4年第5回定例会

令和4年度 一般会計補正予算 (8号)

物価高騰対策などに対する補正予算を計上。

補正予算額 **4億1467**万円(補正後総額170億7777万円)

地域開発費

タクシー燃料費高騰対策 130万円
地域公共交通緊急対策 50万円

180万円

商工振興費

ごうつ地域応援券(第3弾) 1億2303万円
運輸業者燃料費高騰対策 1616万円

1億3919万円

農業総務費

飼料高騰対策 575万円
肥料高騰対策 631万円

1206万円

ライスセンター再編整備

後地町および桜江町の
ライスセンター再編にと
もなう設計委託料



整備予定のライスセンター(後地町)

1365万円

令和4年第5回定例会

令和4年度 一般会計補正予算 (9号)

出産・子育て応援交付金などに対する補正予算を計上。

補正予算額 **2915**万円(補正後総額171億692万円)

出産・子育て応援交付金

「伴走型相談支援」と
「経済的支援」を一体と
した事業

1627万円

委員会 ピックアップ



総務民生委員会

● 職員の定年等に関する条例(一部改正)

本市職員に対し、定年年齢を現行の60歳から65歳に段階的に引き上げるもの

質疑

問 条例改正により職員数は増えるのか。

答 増えることはない。

● 工事請負契約の締結(川越地区防災複合施設)

令和4年7月25日に契約を締結した「川越地区防災複合施設新設工事」について工事内容の変更により、契約金額を増額するもの

質疑

問 追加工事になった理由は。

答 敷地の造成工事が遅延したことにより、当初の発注段階で外構工事を含めることができなかったため。

建設経済委員会

● 江津市印鑑登録及び証明に関する条例(一部改正)

個人番号カードを利用し、多機能端末機などを介して印鑑登録証明書の交付を市長に申請することができる規定を追加するもの

質疑

問 多機能端末機となっているが、具体的にどのようなものか。また、その場で証明書の発行もできるのか。

答 コンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機や、市役所窓口付近に設置予定の端末機。証明書の発行もできる。

● 江津市営住宅管理条例(一部改正)

解体予定の市営住宅黒松団地の用途廃止に伴い所要の改正を行う

質疑

問 解体後の跡地利用については、どうなるのか。

答 普通財産へ移管する。

● 市道の路線認定

主要地方道田所国府線(有福温泉工区)改築工事に伴い、移管予定区間を市道として引き継ぎ、市道堂庭湯本線として認定するもの

質疑

問 出湯橋付近の道路形態が悪いが、対策はとるのか。

答 ポケットパークやゼブラゾーンを設置し、危険がないような対策を予定している。

本会議における賛成・反対意見

議案第55号 | 職員の定年等に関する条例(一部改正)

可決

反対 森川 佳英

条例案は、市職員の定年年齢を65歳へ延長するもので、高齢になってもこれまでの経験を活かした就業を可能にするものだが、財政難のため定年延長により新規採用が抑制される懸念がある。また、移行措置によりフルタイム勤務・短時間の定年延長・再任用職員・部分休業職員・会計年度任用職員などが混在し、正規職員と非正規職員の格差が職場の連帯感を壊す可能性もある。職員が安心して働き続け、住民サービス向上となるには、定員管理計画の変更が必要であり反対。

賛成 植田 圭介

地方公務員法の一部の改正に伴い、社会情勢に応じて高齢期の職員が活躍しつつ、豊富な知識、技術、経験などを次の世代に継承するために条例改正するもの。職員の定年年齢を引き上げ・管理監督職勤務上限年齢制の導入・定年前再任用短時間勤務制の導入など、組織全体の活力の維持と高齢期における多様な生活設計の支援が図られており、地域公共サービスの充実に資することから賛成。

議案第56号 | 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

可決

反対 森川 佳英

条例案は、市職員の定年延長にともない、60歳以上の職員の給与を7割に減額するもの。しかし、労働者の賃金は職務に応じたもので、年齢が理由の減額は認められていない。一方で、定年延長職員と現行の再任用職員に、業務の大きな差はなく、60歳で役職定年となる職員へ、管理職相当の賃金を支給するのは差別的。また、退職金の扱いも定年延長に対応したものとすべき。年齢を理由とした賃金の引き下げには反対。

賛成 植田 圭介

条例改正は、職員の定年年齢の引き上げに伴い、60歳を超える職員の給与水準を設定するもの。本来は60歳を超えても引き続き同一の職務を担うのであれば給与水準は維持されるべきだが、他方では、現時点の民間企業における高齢期雇用の給与水準の実情も考慮する必要がある。また、全体としては現行の再任用制度と比べ、相応の処遇が確保されていることから、一定の合理性があり賛成。

議案第57号 | 職員の高齢者部分休業に関する条例

可決

反対 森川 佳英

条例案は、市職員の定年延長にともない、高齢者部分休業の適用を55歳以上とし、休業分は減給するものだが、コロナ禍により人員不足や慢性的な長時間労働が問題となった状況で、新規採用での人員確保のために多様な働き方を認める上で障害となる可能性がある。それを回避するためには、定年延長とあわせて市職員の定員管理計画を見直す必要があり、それがないため反対。

賛成 植田 圭介

条例改正は、職員の定年年齢の引き上げに伴い、55歳以降の職員について、職員の任意の申請に基づき、公務の運営に支障がない場合に部分休業ができるもの。定年年齢の引き上げに伴い、柔軟な任用を確保することで、職員の多様な生活設計を可能としつつ、適切な行政運営に資することから賛成。

議案第68号 | 令和4年度一般会計補正予算(第8号)

可決

反対 多田 伸治

補正予算案には、コロナ禍や物価高騰への対策が計上されており、一定の評価はできる。ただ、燃料費支援はごく一部の事業者のみが対象で、農林水産業や建設・建築・医療・福祉・製造・卸・販売・飲食など、燃料費高騰の影響を受ける市内事業者のほとんどに届かない。苦境にある市民・市内事業者へ温かい支援の手を差し伸べる上で不十分な施策であるため反対。

賛成 坂手 洋介

今回の補正は主に物価高騰対策にかかる予算となっている。ごうつ地域応援券事業、燃料費高騰緊急対策補助金。また農業における飼料や肥料に対する支援、そして人件費の調整となっている。長引くコロナ禍や物価高騰に対し、今年度中にさらなる対策を取ることは、景気の下支えはもとより、景気回復に向けての足がかりとして重要である。限りある予算の中で効果的な施策を検討し実施していると考え賛成。

議案第74号 | 市長等の給与に関する条例(一部改正)

反対 多田 伸治

条例案は、市長・副市長・教育長のボーナスを引き上げるものだが、共産党市議団の政策提案や市民の要望に「財政的に厳しく困難」とする行政の責任者のボーナスを、市民が物価高騰や保険料などの負担で苦しむ状況で、上げることに市民の理解は得られない。市政のトップであれば、自らのボーナス引き上げを提案する前に、市民に寄り添った施策を打ち出すべきであり反対。

可決

議案第75号 | 市議会議員の議員報酬等に関する条例(一部改正)

反対 多田 伸治

条例案は、市議会議員のボーナスを引き上げるものだが、「財政状況が厳しい」と市民に様々な我慢を強いながら、新たな財政負担となる議員のボーナス引き上げに、市民の理解は得られない。市民に寄り添って、行政をチェックし、市政の最終的な決定を下す議員として、このような動きに与するわけにはいかないため反対。

可決

議案第76号 | 令和4年度 一般会計予算(第9号)

反対 多田 伸治

補正予算案には、市長・副市長・教育長と市議会議員のボーナス引き上げの費用も計上されている。物価高騰に苦しむ市民を横目に、「財政難」のはずがボーナスを上げるのでは、市民の理解は得られない。市民に寄り添った施策にこそ税金を使うべきで、市政の責任者や決定権を持つ者が、率先して受け取るべきものではないため反対。

可決

○:賛成 ●:反対 △:欠席

議決結果【第5回議会定例会】			森元	植田	渡辺	坂田	寺前	下谷	坂手	植田	鍛冶	多田	山根	森川	森脇	石橋	河野	藤間	
議案番号	件名	議決結果	健二	圭介	信明	優美	克宏	忠広	洋介	好雄	恵巳子	伸治	兼三郎	佳英	悦朗	孝義	正行	義明	
承認第10号	専決処分報告について	承認	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	職員の日定等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	△	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第56号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第57号	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	江津市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	江津市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	江津市定住促進住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	江津市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	江津市汚泥共同処理施設の管理に関する条例の制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	江津市下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	江津市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	公の施設に係る指定管理者の指定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	工事請負契約の締結について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	市道の路線の認定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	令和4年度島根県江津市一般会計補正予算(第8号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第69号	令和4年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	令和4年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	令和4年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	令和4年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第75号	江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第76号	令和4年度島根県江津市一般会計補正予算(第9号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○
議案第77号	令和4年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	令和4年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	令和4年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第80号	令和4年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	令和4年度島根県江津市水道事業会計補正予算(第3号)を定めることについて	//	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

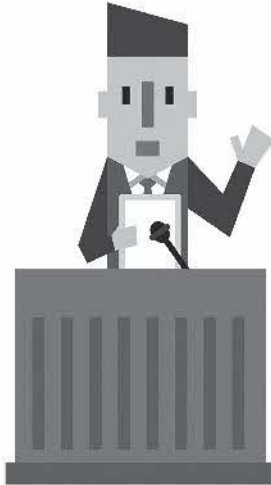
議長職は表決権なし

市議の一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。原稿は質問した議員自身が、主な質問について要旨をまとめたものです。

江津市議会
公式YouTube
チャンネル



市のQ & A

※一般質問は江津市議会公式YouTubeチャンネルに動画を掲載しています。
また、一般質問の全ての議事録は市のホームページの「市議会」→「会議録検索」からも見ることができます。
(ただし掲載は次期定例会の前になります)

江津市をもっと
暮らしやすくするには、
こうしたらいいな

Q 登下校でのマスクは必要ない子どもたちへ外す声かけを

A 「屋外ではマスクを外していい」と声をかけている

Q マスク着用でのあるべき指導、改善すべき点は。

A 感染状況を確認する中でメリハリのある対応をし、マスクをしなくてもいい場では、外してもいいよと繰り返し発信する。

Q マスク着用での健康・成長へのデメリットが言われる。対応を。

A 幼児へは、マスク越しの表情や声のトーンを工夫している。児童・生徒のコミュニケーションに影響するとの指摘もあり、配慮しメリハリをつけ対応している。

【子育て】

Q 全ての新生児が新生児聴覚検査を受けられるよう公費負担を。

A これまでも少子化対策として交付税措置があった。状況を



鍛治 恵巳子

踏まえ公費負担のあり方を協議する。

Q 保育施設で出た紙おむつは、保育施設で処分する動きが全国的に進んでいる。本市の現状は。

A 11施設のうち4施設で処分を実施している。

Q 公共施設へ紙おむつが捨てられる専用ごみ箱の設置を。

A ベッド設置の施設でも、紙おむつは持ち帰りになっている。



Q

地域で安心して子どもを産み・育てる環境の整備は

A

妊娠期から子育て期にかけて総合的に支援する拠点を設置



坂田 優美

Q 本市でも実施中の妊娠・出産

包括支援事業とは。

A 地域で妊娠から出産子育て期まで切れ目なく支援する国の事業。本市でも子育て世代包括支援センターを設置し、専門職員が相談支援や産後ケア事業を実施。

Q 産後ケア事業の状況は。

A 市内の助産院に業務を委託。本市では、母子が通所するデイサービス型と、助産師が家庭訪問するアウトリーチ型を実施。1日利用と半日利用を設け、課税世帯と非課税世帯で利用料金が違う。

Q 利用条件とサービス内容は。

A 利用条件は本市に住所がある生後12カ月未満の母子で、助産院へ電話予約。1人7日を



産後ケア事業所

上限に、健康チェック・授乳指導・乳房マッサージ・育児の悩み相談・産後の心身の疲労回復ケアを行う。

Q 利用状況や利用者の声は。

A 出生数の半数が利用し、利用者アンケートでは好評価で順調。

Q 事業の周知方法は。

A 妊産婦へ様々な場面で説明し、近隣の産科医療機関にチラシを設置。本市や子育てサポートセンターのホームページにも掲載。

Q

40年来の課題である高過ぎる水道料金の軽減を

A

考えていない

Q 本市の高過ぎる水道料金への市長の認識は。

A 水道料金は利益を求めたものではなく、公共の福祉の増進を目的とした設定と認識している。

Q そうは言っても高い。水道料金の軽減を求めろ。

A 財政が厳しく引き下げは困難。

Q 独居や高齢世帯は基本料金の月7mまで使わない。それらの世帯の料金を1m毎にできないか。

A 財政が厳しく基本料金の細分化は困難。

Q 松江市や益田市では、物価高騰対策で水道料金減免を行う。本市でも実施を。

A 現時点で減免の予定はない。

県内8市の水道料金比較

1カ月20㎡使用の家庭用料金	
大田市	5005円
江津市	4807円
雲南市	3980円
松江市	3597円
安来市	3515円
浜田市	3509円
出雲市	3330円
益田市	3245円

島根県資料より作成
(令和3年3月末時点)

Q 定住対策として、多子世帯や大家族など、使用水量の多い世帯への料金軽減を。

A 定住対策は他の事業がある。水道料金の軽減の予定はない。

Q 江津工業団地の誘致企業には原水の負担軽減を行っている。市内事業者の水道料金も軽減を。

A 実施する考えはない。



多田 伸治

Q

学校給食での目標
地元産直率40%の達成状況は

A

令和3年度は35・25%

Q. 学校給食での地元産直率の目標は40%だが、達成状況は。

A. 令和3年度は35・25%。

Q. タマネギ、キャベツの産直率が低い。本市の独自施策で生産者・生産量を増やすべきでは。

A. 異常気象による収穫不能や生育不良があり、必要な時期に必要な量を確保できていない。生産者との連携を深め、学校給食の地産地消率向上を目指す。

Q. 市内での家族農業の比率は。市内に農業経営体が256あり、240が個人経営体で94%。

令和3年度
学校給食の主な野菜等の自給率
〔「サンピコ」取り扱い分〕

分類	品目	地産率	
いも類	ジャガイモ	49%	
	サツマイモ	7%	
	タマネギ	8%	
	キュウリ	6%	
	セロリ	0%	
	パセリ	0%	
	ニラ	22%	
	キャベツ	52%	
	ニンジン	32%	
	ピーマン	43%	
野菜類	カボチャ	38%	
	ダイコン	41%	
	ネギ	33%	
	ゴボウ	74%	
	ナス	66%	
	ハクサイ	40%	
	米類	玄米	100%
		黒米	100%



森川 佳英

Q. 多数を占める家族農業を応援する所得補償・価格保障は。

A. 米の生産コストは60kgあたり1万8933円で、平均取引価格が1万3557円のため厳しい状況だが、価格保障はなく、収入減少影響緩和交付金制度の交付例は市内で1件のみ。

Q. 市独自に米60kg1万5000円の保障や機械更新支援を。

A. 有機農業の推進や直売所を通じた地産地消の推進、果樹・園芸・畜産などの収益力の高い経営体の育成を行う。

Q

地域公共交通計画策定の現在の状況は

A

地域公共交通会議で同意済み
パブリックコメント実施予定

Q. 旧三江線の廃線跡地を個人や自治会で除草などした費用のJR西日本への請求は。

A. JR西日本に直接請求はできないが、他の沿線自治体において自治体経由で委託料支出事例があり、これを検討材料にしたい。

Q. 旧川戸駅周辺の再開発計画の現状は。

A. 桜江町の5つの地域コミュニティ組織のまちづくり協議会を構成員とする「桜江地域まちづくり協議会」を早期に設立し、桜江地域の拠点や旧川戸駅周辺整備のあり方などについて官民協同で検討を深められればと考える。

Q. Maasなどを含めた新たな移動サービスの導入など、今



渡辺 信明

A. 後の江津市公共交通の展開は。現時点では具体的な予定はないが、技術革新や移動サービスの変化を見据えながら、今後の公共交通政策に取り組みが必要であると認識している。策定中の地域公共交通計画でも「Maas導入の検討」を施策として掲げていることを考えている。

Maas(マース)とは
情報通信技術(ICT)の発達を背景に生まれた次世代の移動サービス。



地域公共交通の集まるJR江津駅

Q 児童・生徒の理数系科目に対する認識は

A 大切だと感じている児童・生徒の割合は高い

Q 今後需要が高まると考えられる人材についての認識は。

A 社会や地域が直面する課題の解決に向け、自分自身の役割を考えるとともに、日本や世界で活躍できる人材。

Q 将来を見据えた教育についての認識は。

A 主体的、協働的な学びの促進や、観察、実験環境の充実等、課題解決的な学習や、理数教育の充実等を図った学習指導要領の推進や、児童・生徒の才能を伸ばす取組など、課題研究などを通じた才能豊かな児童・生徒の継続的、体系的な育成に向けた教育の推進が必要であると考ええる。



坂手 洋介

【市営住宅】

Q 今後の市営住宅整備方針は。

A 人口動態や財政事情、そして地域性など様々な観点から合理的、計画的に整備する。

Q 整備計画の見直しや改定の必要性は。

A 高齢化と人口減少という状況で、都市計画あるいは地域計画など、将来を見据えた公営住宅の位置づけ、役割といったものを再度整理する必要がある。



(仮称)第二江津中央団地 安全祈願祭

Q 令和5年度予算編成の基本的考えは

A 新たにDXの推進に重点を置く

Q 市長の選挙公約のうち、子育て支援などに関して、実現に向けた予算編成となり得るか。

A 第3子以降の経済的負担軽減については、現在の保育料軽減を引き続き行い、国による出産支援などが拡充予定であり、本市も有効な支援を行いたい。他の公約についても実効性のある予算となるよう、リーダーシップをとっていく。

【機構改革】

Q 新たな市長となったことや定年年齢の延長など、タイミングを逃すことなく部長制の再導入など含めて、組織・機構を見直すべきでは。

A 職制も含め、現在部門参事を中心に令和5年度に向けた全体的な組織機構についてヒアリングを行うなど検討を進めている。



森脇 悦朗

【公共施設等総合管理計画】

Q 財政事情から先延ばしとなっている旧市民会館や廃校舎などの除却について登別市の「廃止施設等除却プラン」を参考に計画的に実施を。

A 本市にはこうした詳細な解体プランはないが、市民の皆さんはそれらの建物が急速に老朽化していることについて、不安に感じていると思う。財政的な制約の中で、市民負担の少ない手法を選択し、年次の解体の推進に努めたい。



解体が急がれる廃校舎

Q

持続的な地域医療
介護体制の構築を

A

限りある人材を踏まえ
体制整備を図っていく

Q

本市も出席している島根県地
域医療構想調整会議において
も、医師確保の取り組みを。

A

これまでの調整会議では、十
分な議論がなされていない。今
後は地域課題に沿って医師確
保について議論されるべきと
考える。

Q

本市において、不採算地区病
院の該当があると思うが、特
別交付税の措置はないのか。

A

本市においては、済生会江津総
合病院が該当になる。12月交
付分で算定交付される予定。

「不採算地区病院」とは

経営条件の厳しい地域に所在し、地域に
おいて必要とされる不採算な医療機能
を担う病院。

※不採算地区病院へ地方公共団体が助
成金を出している場合は、特別交付税
措置の対象となる。

【居場所づくり】

全国的に不登校が増えてい
るが本市の状況は。

A

令和3年度の不登校児童・生徒
数は、小学校19人、中学校31人
の計50人。令和4年度においても
1学期末で既に計30人で、増加
傾向にある。高校は未把握。

Q

保護者、地域含めて不登校の居
場所づくりが必要。また、不登
校に限らず高齢者、働きざかり
など全ての人を対象にした居
場所づくりが必要ではないか。

A

現在は「ときまち」の開設や「断
らない相談支援」を実施してい
る。今後、
属性を
問わない
居場所づ
くりは必
要と考
える。



江津本町にある居場所
「ときまち」(令和4年7月開設)



植田 圭介

Q

老朽危険空家除却支援事業
の予算増を求める

A

住民のニーズは高いものと
感じている

Q

当初予算の執行状況は。
令和4年度当初予算で、1件
あたり上限100万円の予算
を6件分計上している。この
6件については、すでに補助金
交付決定をして、うち3件は
除却が完了。これ以外にも、
補助対象となり得るか否かの
事前調査の申請がなされてい
る。調査の結果、補助対象と
なる老朽危険空家が6件あ
り、令和4年度予算では対応
できない状況。

A

令和5年度はさらにニーズ
が高まるのではないかと考
えている。令和4年度、江津市老朽危
険空家除却支援事業を開始
したところ、問い合わせなど
が多く寄せられている。また、
令和5年度予算で補助対象
として対応することになる老

Q

令和5年度はさらにニーズ
が高まるのではないかと考
えている。令和4年度、江津市老朽危
険空家除却支援事業を開始
したところ、問い合わせなど
が多く寄せられている。また、
令和5年度予算で補助対象
として対応することになる老

A

令和5年度はさらにニーズ
が高まるのではないかと考
えている。令和4年度、江津市老朽危
険空家除却支援事業を開始
したところ、問い合わせなど
が多く寄せられている。また、
令和5年度予算で補助対象
として対応することになる老



山根 兼三郎



解体前



解体後

危険空家

朽危険空家が既に6件ある。
江津市空家等対策計画にお
いても、基本方針の1つに管
理不全な空家などの解消を
掲げ、その基本的施策として
老朽危険空家などの除却支
援の推進を定めており、今後
の申請や相談状況を見なが
ら対応したい。



川波小学校の校舎

Q. 学校建設費は40億円とも言われている。市民の最優先は図書館建設であり、これは後回しになるのか。また、財政圧迫の認識はあるのか。

A. 事業の調整を図り、財政負担とならないように計画している。

Q. 過去に青陵中北側が最終選定された。再度比較検討する調査費の整合性はあるのか。

A. 関係者の意向や教育的効果を比較検討し、事業を進めたい。

Q. 図書館よりも西部統合小学校の建設を優先する理由は

A. 校舎や体育館の老朽化が進んでいるため



植田 好雄

Q. 建設ありきではなく、小学校存続の選択肢を含めた再検討も必要ではないのか。

A. これまで時期を延期していたが、新庁舎が完成したことから進めたい。

Q. 再度、地域との合意形成はしないのか。

A. 今のところ再度の意見集約は考えていない。

【瓦産業の支援】

A.Q. 瓦産業の現状認識は。最盛期の1割まで減少。物価高騰もあり、厳しくなっている。

A.Q. 販路拡大などの支援は。

本市単独での支援には限界がある。県及び関係機関、近隣市にも支援継続を強く働きかける。

総務民生委員会 行政視察報告(10月28日 邑南町)

子育て支援、人口減少対策

邑南町では2011年度に「日本一の子育て村構想」を策定し、2020年度までの10年間に「地域で子育て」をキーワードに住民・地域・行政が一体となった取り組みを意識し、事業を展開されていました。目玉施策として「0歳から中学卒業までの医療費無料」、「保育料を所得制限無しで第2子以降完全無料」、「24時間救急受付などの安心な医療体制の確立」などが上げられます。人口減少は続いています。18歳未満の全人口に占める割合が横ばいであり、子育て世帯の30~44歳、0~9歳の人口が増加しています。



また、邑南町は、「高校がない町には若い人は住まない」との危機意識のもと、町として様々な施策が実施されています。県立の学生寮に加えて、町が研修施設として位置づけた寮を設置・運営しています。

その他にも、通学支援や無料オンライン補習塾、魅力化コンソーシアム設立による取り組みなどがあり、3年連続志願者倍率1.0倍以上を実現しています。

子ども・子育てを軸としてまちづくりが進められ、まちの存続と町民の笑顔が両立されていました。

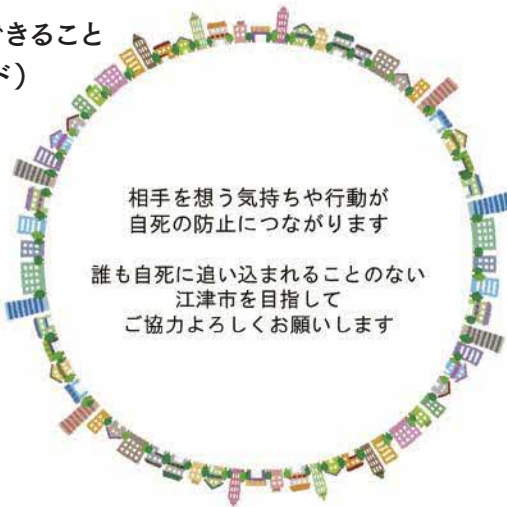
今後本市における人口減少対策、子育て支援などを考える上で非常に参考になりました。機会を見て様々な提言をしていきます。

ゲートキーパー養成講座(12月15日)

自死についての理解を深め、ゲートキーパーの役割と対応方法を学びました。

私たちができること
(キーワード)

- ①気づく
- ②声かけ
- ③傾聴
- ④つなげる
- ⑤見守る



第14回 議会報告会(11月)

市内4カ所で開催しました。意見交換では、人口減少、少子高齢化、空家対策、図書館建設、公共交通など、住みよいまちづくりに向けた様々な意見や要望が出されました。市議会の「見える化」を一層進め、市民に寄り添い・つながる市議会に向け決意も新たにさせられた議会報告会でした。



次回3月定例会

請願・陳情締切／2月17日正午まで

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20 委員会 (議会運営) 9:30~	21 全員協議会 9:30~	22	23	24	25
26	27 委員会 (議会運営) 15:00~	28	3/1 本会議 10:00~	2	3 議員連絡会 9:30~	4
5	6	7 本会議 (一般質問) 10:00~	8 本会議 (一般質問) 10:00~	9 委員会 (総務民生) 9:30~	10 委員会 (建設経済) 13:30~	11
12	13 委員会 (予算決算) 9:30~	14 委員会 (予算決算) 9:30~	15 委員会 (予算決算) 9:30~	16 情報交換会 9:30~	17	18
19	20 本会議 14:00~	21	22	23	24	25

※開始時間等は予定です。

議会を傍聴しよう
江津市議会では皆さんの傍聴をお待ちしております。傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎2階の議場へお越しください。

議会へ参加しよう
市政に対して意見や要望があれば、議会へ請願・陳情することが出来ます。請願の場合は市議会議員の紹介が必要です。お気軽にご相談ください。

■編集・発行責任者

議長 藤間 義明

■市議会だより編集特別委員会

委員長 坂手 洋介

副委員長 下谷 忠広

委員 森元 健二

委員 植田 圭介

委員 渡辺 信明

委員 鍛冶 恵巳子

委員 多田 伸治

市議会だよりは
こちらから



編集後記
安倍元首相銃撃事件に端を発した旧統一協会と政治の問題は、国会議員のみならず首長・地方議員にも波及しています。そのため、各地の地方議会で「旧統一協会との関係を断つ」との決議が採択されています。
この誌面には掲載されていませんが、江津市議会でも12月定例会中の議会運営委員会で、決議への議論を重ね、3月定例会で結論を出すことになっています。市民のみなさんの信頼に応えるには、違法性が指摘される団体などに対して、毅然とした対応が不可欠です。みなさんのご意見をお聴きしながら、議論を深めたいと思います。
(多田 伸治)